

ウェブサイト制作者が模索するサイエンス・コミュニケーション

2011年1月14日（金） 18:00-20:00

広告クリエイティブに関わっている人間として持っている引き出しと、その中にある使えそうなツールも、(恥ずかしながら)皆様の目の前に広げてみようと思います。「その道具、こんな風に使えないの?」という突っ込みを期待しています。(ゲストより)

ゲスト 岩崎 琢哉

大阪大学 研究推進部 大型教育研究プロジェクト支援室
研究広報企画コーディネーター (特任講師)

1990年北海道教育大学卒業後、株式会社進学会の商用ソフトウェア開発部門に就職。筑波大学で開発され、SHARPが全国に販売した「分岐治療型CAIパッケージ」のコースウェア制作に10年ほど携わった。専門は数学。

会場 京都大学 吉田泉殿

- *京町家風の建物です。
- *普通の家のように見えるので、通り過ぎないようにご注意ください。
- *入り口に「京都大学吉田泉殿」という看板がかかっています。



定員 25名 (要申込/先着順)

人数に余裕があれば、当日参加も可能です。

持ち物 (おなかがすく時間なので) 夕ご飯をご持参ください。

主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志
加納 圭・水町 衣里 (京都大学)